

朱七だより

冬休み号

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai7-s/>

今年1年を振り返って

今年もあとわずかとなりました。令和7年（2025年）が終わりを迎えます。スポーツフェスティバルや学習発表会、校外学習など、様々な行事を無事終えることができました。子ども達のがんばりに拍手を贈ると共に、保護者の皆様の御協力に心より感謝いたします。

2学期の最終日24日（水）は、通知票をお渡しします。教室で、一人一人のがんばりについて振り返る機会です。通知票に表されていることもその一つですが、そこに表し切れていないがんばりもあります。結果や成果だけを見るのではなく、**その経過で自分はどんな姿を見せたか、どんな気持ちでいたか**を見つめることができます。期待する結果や成果が出ないこともあります、自分の目標に向かって努力した姿が素晴らしいからです。自分では「できていないかも。」と思っている場合もあるので、「できているよ。」「がんばれたよ。」と認める言葉掛けが、次の自信につながります。ご家庭でも、2学期の成長を共に考える機会としてください。

冬休みの間に、令和7年（2025年）が終わり、令和8年（2026年）が始まります。新しい年を迎えるに当たって、じっくりと自分を見つめ直してみてください。新しい歩をどのように踏み出したいですか。3学期は、学年の締めくくりの学期となります。6年生にとっては、小学校生活の最後の3か月です。目標をもって、素敵なスタートを切りましょう。

この1年、保護者・地域の皆様方には、朱七教育推進のため、ご支援・ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。来年も引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。





1～3月の主な行事予定



1月	7日 (水)	3学期始業式 4時間授業 給食開始
	13日 (火)	ジョイントプログラム (5・6年)・プレジョイントプログラム (4年) 確認テスト期間
	14日 (水)	
	13日 (火)	生活リズム調べ (～16日) 委員会活動9
	15日 (木)	避難訓練 (地震・火災) 起震車体験 (4年)
	20日 (火)	クラブ10 (3年クラブ見学)
	22日 (木)	校内研究授業 (1年)
	27日 (火)	演劇鑑賞 (6年)
	28日 (水)	昔遊び体験 (1年)
	29日 (木)	ハートフル参観・懇談会

2月	2日 (月)	朝会 消防団の仕事 (3年)
	3日 (火)	委員会10
	4日 (水)	校外学習 (6年) 平和ミュージアム
	5日 (木)	入学説明会・学校体験(1年～3年 4時間授業・完全下校) 小さな巨匠展 (～8日)
	6日 (金)	音楽鑑賞教室 (5年)
	10日 (火)	クラブ11 (最終)
	12日 (木)	租税教室 (6年)
	17日 (火)	育成合同科学センター学習 (3組) 邦楽教室 (5年)
	20日 (金)	授業参観・懇談会 (最終)
	25日 (水)	そろばん教室 (3年)

3月	3日 (火)	朝会・感謝のつどい 委員会11 (最終)
	5日 (木)	6年生を送る会
	6日 (金)	社会見学 (6年)
	9日 (月)	卒業を祝う会 (3組)
	12日 (木)	町別児童集会 完全下校
	19日 (木)	給食終了
	23日 (月)	卒業証書授与式
	24日 (火)	修了式 午前中授業
	25日 (水)	春季休業 (～4月9日)

たくさんのご回答ありがとうございました

7月に行いました学校評価アンケートに多数ご協力をいただき、ありがとうございました。

○自分や人を大切にしている

児童アンケートで「できている」の割合が最も高かった項目は「自分や人を大切にしている」です。保護者アンケート「子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている」におきましても95%と高い結果でした。子どもたちが「自分自身を大切にすること」や「友達や周囲の人を思いやること」を日々の生活の中で意識している様子がうかがえます。誰かの気持ちに寄り添うこと、違いを認め合うこと、困っている友達に手を差し伸べること、そうした姿が日常生活からもうかがえます。一方で、学校生活の中では、友達に対しきつい言葉をかけてしまったり、思いやりや気遣いが足りないことでトラブルに発展したりする場合も見受けられます。子どもたちは日々成長の途中にあり、時には感情のコントロールが難しいこともありますが、そうした経験を通して、より深く「人を大切にする」ことの意味を学んでいくことが大切です。

「自分や人を大切にする」ことは、安心して過ごせる人間関係を築く土台となるだけでなく、自分の考えや気持ちを尊重しながら他者との違いを認め合う力にもつながります。これは、これから社会を生きるうえでとても大切な力です。

学校では、日々の授業や生活の中で、子どもたちが互いに認め合い、支え合えるような関わりを大切にしています。また、「言葉の使い方」や「相手の気持ちを考えること」の大切さについて継続して指導するとともに、子どもたちが自分らしく、そして他者とともに成長していくよう取組を続けてまいります。ご家庭でも、日々の会話の中で「人を大切にするとはどういうことか」について話し合っていただけますと、子どもたちの理解がより深まることがあります。

引き続き、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりに向けて保護者の皆様と連携して取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

★積極的に運動を！

児童アンケートで「できている」の割合が最も低かった項目は「自分から積極的に運動している」です。約25%の児童が「できていない」と答えています。保護者アンケート「子どもは、自分から積極的に運動をしている」におきましても「できている」が75%と低い割合でした。昨年度も同様の傾向がみられました。

近年、子どもたちの運動機会が減少している背景には、「時間」「空間」「仲間」のいわゆる『3間』の欠如があると言われています。放課後の過ごし方やあそび場の環境、友達との関わり方など、さまざまな要因が影響していると考えられます。

児童期の運動経験は、体力の向上だけでなく、心の安定や人間関係の形成、そして生涯にわたる健康づくりにもつながる大切なものです。学校では体育の授業や休み時間等を通して運動の楽しさや大切さを伝えていますが、家庭でのちょっとした運動習慣も、子どもたちの意識を高める大きな力になります。ぜひご家庭でも「体を動かすって楽しいね」「一緒にやってみよう」といった声かけを通して、積極的な運動へのきっかけづくりをしていただければと思います。

家庭でできる運動習慣の工夫

① 親子で一緒に運動する時間を作る

- ・一緒に散歩やジョギングをする
- ・ラジオ体操やストレッチを朝の習慣にする
- ・家中でダンスやエクササイズ動画を見ながら体を動かす

③ 「ながら運動」を取り入れる

- ・テレビを見ながらストレッチ
- ・歯磨き中にかかと上げ下げ運動
- ・室内で階段の上り下りを活用

② 遊びの中に運動を取り入れる

- ・縄跳び、ボール遊び、鬼ごっこなど昔ながらの遊び
- ・「何秒できるか」チャレンジゲーム

☆冬休みの生活について☆

楽しみな冬休みが始まりますが、以下のこと気に付けて安心・安全に過ごせるように、お家でも言葉かけをお願いします。冬休み明けに、子ども達の元気な顔を見るのを楽しみにしています。

○早寝早起きを心がけて、学習や家庭でのお手伝いなど計画を立てて、規則正しい生活をしましょう。

○外出するときは、交通事故などに合わないように気を付けて、安全に過ごしましょう。

○スマートフォンやオンラインゲーム、インターネットにおける危険性についてお家で話す機会を設けて、正しく使えるようにしましょう。

○公園や大勢の人が集まる場所で、大声を出したり騒いだりして、周りの人に迷惑をかけないようにしましょう。持ち物の管理も自分でしましょう。



★ホームページをご覧ください！！★

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！



この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。コミュニケーション回収や古紙回収等にお出しください。

